スプレー缶、カセットボンベは中身を使いきり、穴を開けて出しましょう

中身の残ったスプレー缶、カセットボンベがごみとして出されますと、
収集車や処理施設で**火災**の原因となり、大変危険です。

・缶を手で振って中身の有無を確認して下さい。
・「ｼｬｶｼｬｶ! ﾁｬﾌﾟﾁｬﾌﾟ!」など音がしたら、まだ中身が残っています。

必ず中身を使い切ってから必ず穴を開けて出して下さい。

穴開けは、風通しの良い火の気のない屋外で行いましょう。

１００円ショップやホームセンターなどで市販されている穴開け器を使うと便利です。

メルトタワー21では、平成23年２月に不燃ごみ処理施設で火災が発生し、幸いけが人等は出ませんでしたが、約２週間にわたり不燃ごみの処理ができない状況になりました。また、施設を直すのに約1,５００万円の費用かかっています。この時は、一時仮置き措置で収集を止めずに済みましたが、場合によってはごみ処理が出来なくなり、ごみ収集が止まるなど住民の方々の生活に大きな支障が出る恐れがあります。

車輌火災が、毎年数件発生しています。火災が発生しますと、収集が遅れたり、収集が出来なくなったりします。

○車輌火災（室蘭市）の様子

○メルトタワー２１火災（施設コンベア内部）

○火災の原因と思われるスプレー缶